

鹿屋市立西原小学校 特別の教育課程の実施状況等について

1 特別の教育課程の概要

本校では、令和 3 年度～令和 4 年度、市内全小学校が文部科学省教育課程特例校の指定を受け、下述の 時数を確保し、現行の学習指導要領（外国語活動・外国語科）を踏まえて、「英語科」として先進的な英語教育の実践研究を推進しています。

英語大好きな子どもたちをイメージし、小学 1 年生から児童の興味・関心や理解度に合わせた英語を使って段階的に指導し、小学校 6 年間を通して、総合的にコミュニケーション能力の基礎を育成し、小・中一貫による英語教育の推進を図ることを目指しています。

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年 (教科)	6 年 (教科)	総時数
年間時数	2 0	2 0	3 5	3 5	7 0	7 0	2 5 0
使用する教材等	オリジナル	オリジナル	Let's Try!1	Let's Try!2	教科書 My Book Picture Dictionary	教科書 My Book Picture Dictionary	

鹿屋市の英語教育の目指す生徒像

「地球規模で様々な問題を考え、郷土の魅力を生かして、英語を使って、能動的に課題解決に向けた行動を起こす児童生徒の育成」子どもたちが英語の学習に主体的に取り組み、コミュニケーション能力を育成した結果、郷土の課題解決に貢献したり、グローバルな視点を持ち、郷土の魅力を世界に発信し、持続可能な社会の発展に貢献したりする人材の育成を目指します。子どもたち・先生方・学校・保護者・地域が一体となって、「わくわく」するような授業を一緒に作り、多文化共生社会を生き抜く「グローバル人材」を育成する。

2 本校の教育目標

「豊かな心を持ち、進んで学び、心身ともにたくましく生きる西原の子どもを育てる。」

3 本校の令和 3 年度英語教育の実践について

(1) 1・2 年生の取組

- ア 担任及び J T E, A L T との複数体制による授業の充実
- イ 教材教具やデジタル教科書の効果的な活用

(2) 3・4 年生の取組

- ア 担任及び J T E, A L T との複数体制による授業の充実
- イ 教材教具やデジタル教科書の効果的な活用

(3) 5・6 年生の取組

- ア 担任及び J T E, A L T との複数体制による授業の充実
- イ 教材教具やデジタル教科書の効果的な活用

(4) 鹿屋市各地区英語教育圏推進会議について（小中一貫教育）

- ア 「小中一貫ワークシート」を活用しての共通実践

イ 中学校授業公開及び授業研究への参加

(5) 校内研修体制について

ア 夏期休業中におけるJTEの実践例紹介による外国語活動・外国語研修

4 特別の教育課程の実施状況に関する検証結果

(1) 自己評価（児童）の結果から

英語の授業は楽しいですか。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
楽しい	64%	56%	62%	30%	29%	23%
どちらかというと楽しい	19%	29%	16%	45%	41%	44%
あまり楽しくない	14%	8%	19%	19%	20%	19%
楽しくない	3%	7%	3%	6%	10%	14%

(2) 自己評価（教員）の結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
27%	73%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・自ら英語に親しむ英語好きな子どもの育成
- ・異文化理解，他者理解能力の向上

(3) 保護者評価結果から

Q1 お子さんは、英語の授業が好きですか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
33%	57%	10%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。（自由記述，一部抜粋）

- ・簡単な日常会話ができるようになること
- ・英語への抵抗感を少しでも減らして欲しい
- ・コミュニケーション能力の育成

(4) 学校関係者評価結果から

Q1 1年生からの英語教育の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
100%	0%	0%	0%

Q2 1年生からの英語教育に期待することは何ですか。(自由記述, 一部抜粋)

- ・次代を担う人材の育成
- ・英語への興味・関心を高めて欲しい
- ・コミュニケーション能力の育成

5 令和4年度の実施について

(1) 1・2年生の実施

- ア 担任及びJTE, ALTとの複数体制による授業の充実
- イ 教材教具やデジタル教科書の効果的な活用
- ウ ALT所管アウルズ及び教育委員会, 英語教育圏推進会議との連携

(2) 3・4年生の実施

- ア 担任及びJTE, ALTとの複数体制による授業の充実
- イ 教材教具やデジタル教科書の効果的な活用
- ウ ALT所管アウルズ及び教育委員会, 英語教育圏推進会議との連携

(3) 5・6年生の実施

- ア 担任及びJTE, ALTとの複数体制による授業の充実
- イ 教材教具やデジタル教科書の効果的な活用
- ウ ALT所管アウルズ及び教育委員会, 英語教育圏推進会議との連携
- エ スピーキングクエスト(6年生)の円滑な実施

(4) 鹿屋市英語教育圏推進会議と鹿屋市各地区英語教育圏推進会議(小中一貫教育)について

- ア 「小中一貫ワークシート」の見直し, 共通実践での成果と課題の検証
- イ 中学校授業公開及び授業研究への参加, 全校への還元
- ウ 学校運営協議会代表社会の活用

(5) 鹿屋市小中学校英語弁論大会(小学校:スキット部門)について

- ア 5・6年生より2人を推薦, 9月30日の本番に向けて計画的に児童指導をする。

(6) グローカル・イングリッシュキャンプについて

- ア 今年度は7回実施予定, 子ども会を主体とし大勢の参加者を募る
- イ 学校教育課と生涯学習課との協働プロジェクト

(7) 国立台北教育大教育実習生の受入による交流授業並びに遠隔授業について

- ア 令和4年9月~1ヶ月間(鹿屋女子高等学校を拠点校とし, 市内の小中へ派遣)
- イ ホームステイの受入や9月にグローバルイングリッシュキャンプへ招待
- ウ 帰国後の遠隔授業による言語活動の目的・場面・状況・対象の明確化

(8) スピーキングクエストの実施について

ア 令和4年6月末に6年生で一回実施（マイク付きヘッドセット）

(9) 校内研修体制（イングリッシュガイドブック・学習指導案等の活用）について

ア 夏期休業中におけるJTEの実践例紹介による外国語活動研修

イ 県総合教育センターによる短期研修講座への参加と全校への還元